

2022年度上半期 業績の概要

2022年11月25日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

3 業績見通し

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ

保険料等収入

 2兆9,686億円

〔 対21年4-9月 +9.1%／対19年4-9月 +0.6% 〕

- グループ各社の外貨建商品の販売増等を主因に増収

基礎利益

 2,616億円

〔 対21年4-9月 ▲34.3%／対19年4-9月 ▲4.6% 〕

- グループ各社の新型コロナウイルス感染症関連の支払増を主因に減益

新契約年換算保険料

 1,771億円

〔 対21年4-9月 +0.1%／対19年4-9月 ▲13.4% 〕

- 日本生命は貯蓄性商品の料率改定等により減少も、ニッセイ・ウェルス生命および大樹生命の外貨建商品の販売増により対21年4-9月横ばい

保有年換算保険料

 4兆5,904億円

〔 対22年3月末 +0.5% 〕

- 日本生命は減少も、ニッセイ・ウェルス生命の増加を主因に対22年3月末で増加

業績見通し

増収・減益

- 保険料等収入は、外貨建商品の販売増を主因に増収見込み
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払増を主因に減益見込み

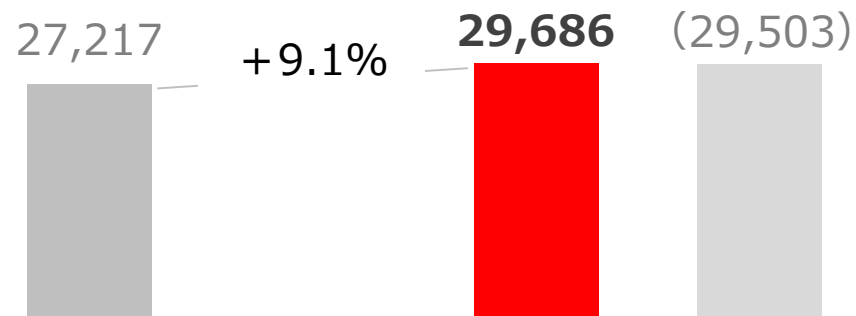
個人保険・個人年金保険
国内生命保険

グループ

② 保険料等収入・基礎利益

保険料等収入

(単位：億円)



21年/4-9月 22年/4-9月 (19年/4-9月)

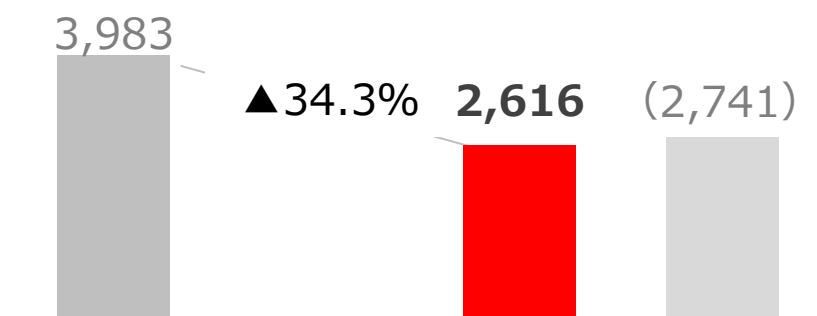
	2022年 4-9月	対21年 4-9月	対19年 4-9月
保険料等収入	29,686	+ 9.1%	+ 0.6%
日本生命	22,171	+ 3.3%	▲ 3.7%
大樹生命	4,136	+ 45.7%	+ 9.3%
ニッセイ・ウェルス生命	2,124	+ 17.3%	+ 33.9%
はなさく生命	98	+ 69.2%	*
MLC	973	+ 10.2%	+ 7.4%

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイ・プラス少額短期保険、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

* 対比数値が僅少なため、1,000%を超える増加率

基礎利益

(単位：億円)



21年/4-9月 22年/4-9月 (19年/4-9月)

	2022年 4-9月	対21年 4-9月	対19年 4-9月
基礎利益	2,616	▲ 34.3%	▲ 4.6%
利差益	1,950	+ 23.9%	+ 489.9%
保険関係損益	678	▲ 71.2%	▲ 71.6%
日本生命	2,674	▲ 26.9%	+ 6.5%
大樹生命	86	▲ 53.7%	▲ 33.1%
ニッセイ・ウェルス生命	▲ 12	*	*
はなさく生命	▲ 119	▲ 41.4%	▲ 313.4%
MLC	▲ 1	+ 65.1%	*

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

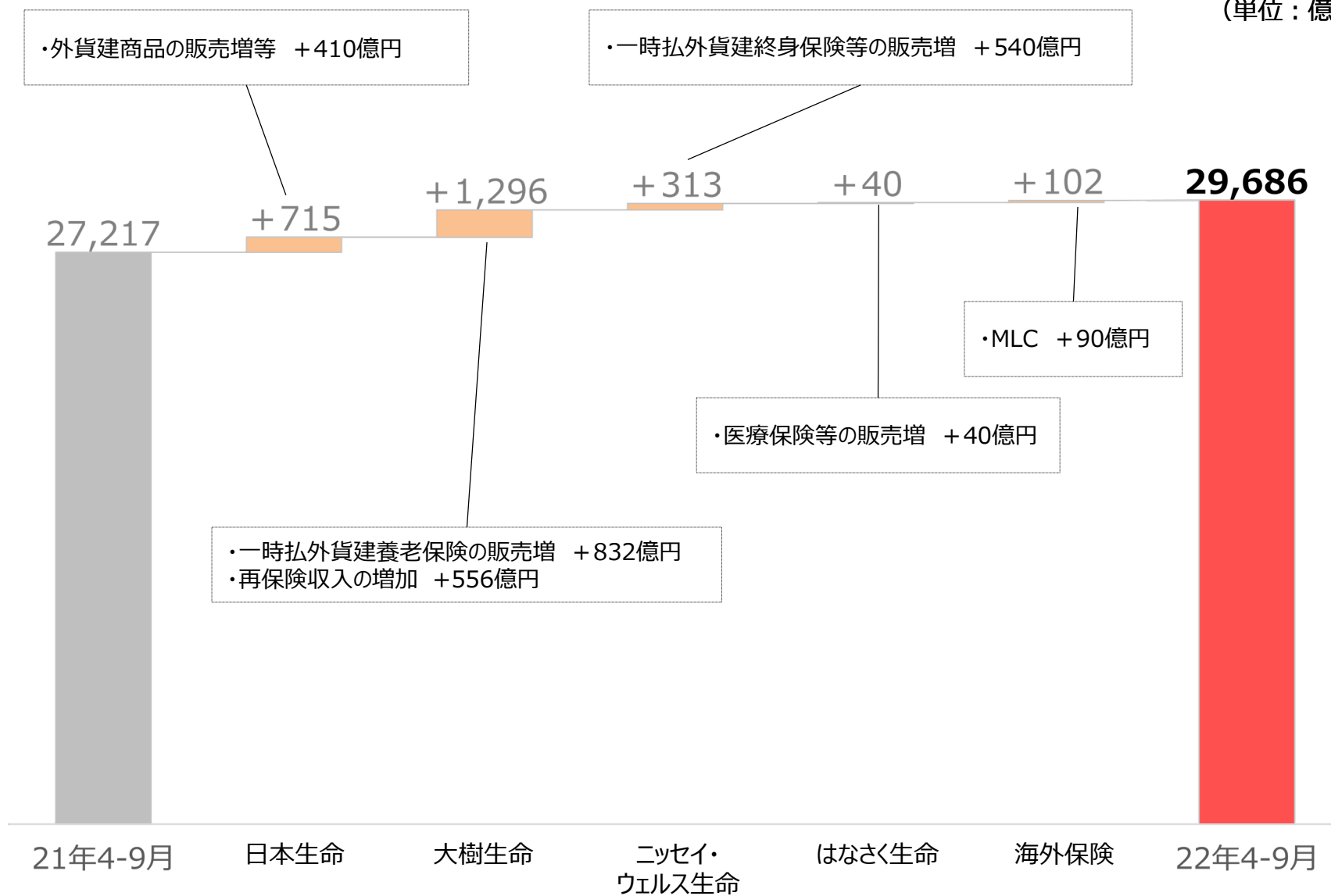
※ 利差益および保険関係損益は国内生命保険の合計

※ 2022年度より適用される基礎利益の計算方法に基づいて算出

* 19年4-9月の数値がプラス、当年度数値がマイナスにより、減少率算出不可

③ 保険料等収入

(単位：億円)

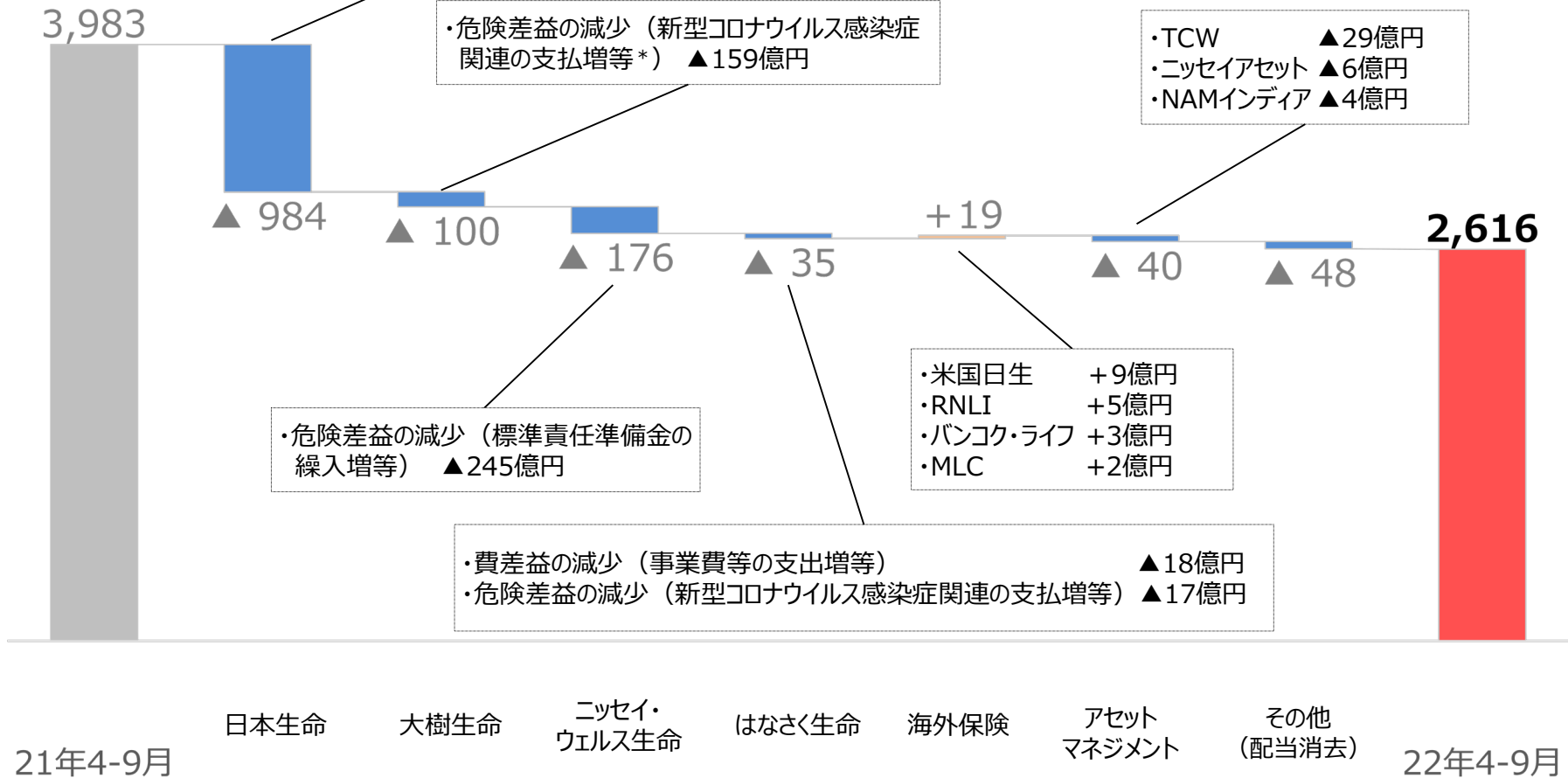


※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイ・プラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出）

④ 基礎利益

- ・危険差益の減少（新型コロナウイルス感染症関連の支払増等*） ▲1,373億円
- ・利差益の増加（円安の影響、投信分配金の増加等） +284億円

(単位：億円)



※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ 【会社名称】 ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント、RNLI：リライアンス・ニッポンライフ・インシュアランス、NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント

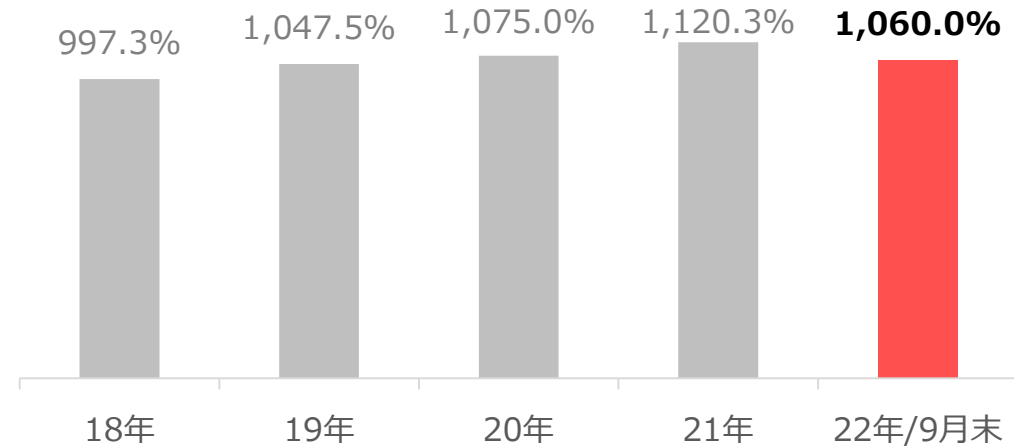
※ 2022年度より適用される基礎利益の計算方法に基づいて算出

* 未処理の給付金請求に係る支払備金を含む

⑤ 健全性

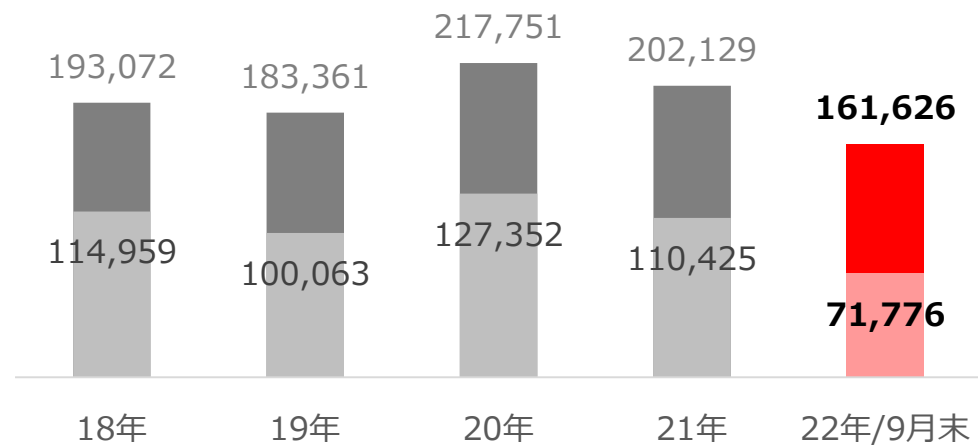
- ソルベンシー・マージン比率は、
 其他有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で低下。
- 実質純資産は、
 有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で減少。

ソルベンシー・マージン比率



実質純資産

(単位：億円)



有価証券含み損益

※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、
 海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

⑥ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益・中間純剰余は、対21年4-9月で減少。

(単位：億円)

	2022年 4-9月	対21年 4-9月
経常収益	50,019	+20.5%
保険料等収入	29,686	+9.1%
資産運用収益	19,077	+46.9%
経常費用	49,615	+35.6%
保険金等支払金	26,831	+19.9%
資産運用費用	7,674	+474.7%
事業費	4,013	+0.1%
経常利益	403	▲91.8%
(基礎利益)	2,616	▲34.3%
特別損益	▲264	+82.3%
中間純剰余(利益)	266	▲89.6%

貸借対照表

- 対22年3月末で総資産は減少、負債は増加。
- 純資産は、対22年3月末で減少。

(単位：億円)

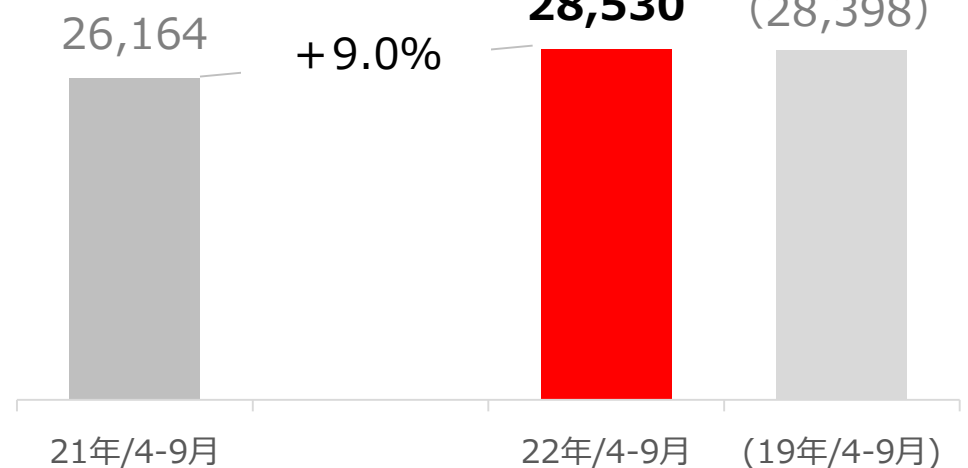
	2022年 9月末	対22年 3月末
総資産	877,115	▲0.8%
うち有価証券	718,325	▲2.1%
うち貸付金	85,990	+1.9%
うち有形固定資産	18,759	+0.0%
負債	813,868	+1.3%
うち保険契約準備金	709,775	+1.5%
うち責任準備金	694,327	+1.3%
うち価格変動準備金	17,029	+1.1%
純資産	63,247	▲21.5%

① 保険料等収入

- 外貨建商品の販売増による銀行窓販チャネルの増加を主因に、対21年4-9月で増収。
- 対19年4-9月では、代理店チャネルの販売増等により増収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）
28,530 (28,398)



	2022年 4-9月	対21年 4-9月	対19年 4-9月
保険料等収入（国内計）	28,530	+9.0%	+0.5%
うち個人保険・個人年金保険	19,605	+9.6%	▲0.2%
営業職員チャネル	13,729	+3.6%	+0.5%
代理店チャネル	2,436	+23.6%	+9.9%
銀行窓販チャネル	3,439	+28.6%	▲8.7%
うち団体保険	1,451	+0.7%	+4.3%
うち団体年金保険	6,117	+1.5%	▲1.9%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

② 新契約

- 個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料は、対21年4-9月で横ばいも、対19年4-9月では減少。
- 件数・保障額等は、対21年4-9月・対19年4-9月ともに減少。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料			件数			保障額等		
	2022年 4-9月	対21年 4-9月	対19年 4-9月	2022年 4-9月	対21年 4-9月	対19年 4-9月	2022年 4-9月	対21年 4-9月	対19年 4-9月
国内計	1,771	+0.1%	▲13.4%	240	▲0.9%	▲8.2%	37,395	▲19.2%	▲15.8%
営業職員チャンネル	820	▲13.1%	▲15.6%	223	▲2.6%	▲10.2%	24,289	▲28.1%	▲35.2%
代理店チャンネル	338	+16.5%	+101.3%	11	+15.9%	+88.6%	9,045	▲6.4%	+236.7%
銀行窓販チャンネル	610	+14.1%	▲32.7%	4	+54.2%	▲26.6%	3,994	+42.0%	▲6.1%
日本生命	1,059	▲8.5%	▲8.0%	223	▲2.1%	▲10.1%	27,028	▲27.5%	▲29.8%
大樹生命	161	+33.1%	▲14.6%	6	+3.6%	▲35.9%	3,642	+8.2%	▲19.1%
ニッセイ・ウェルス生命	504	+11.2%	▲27.6%	2	+47.6%	+92.0%	2,730	+46.7%	+92.1%
はなさく生命	46	+21.7%	+430.7%	7	+23.9%	+437.9%	3,994	+6.5%	-

③ 保有契約

- 個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料・件数は増加、保障額等は減少。
- 団体保険・団体年金保険は減少。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険	年換算保険料		件数		保障額等	
	2022年 9月末	対22年 3月末	2022年 9月末	対22年 3月末	2022年 9月末	対22年 3月末
国内計	45,904	+0.5%	3,822	+0.8%	1,734,055	▲0.9%
日本生命	37,512	▲0.5%	3,495	+0.7%	1,514,024	▲1.3%
大樹生命	5,129	+0.2%	257	▲0.8%	169,969	▲1.8%
ニッセイ・ウェルス生命	3,067	+12.8%	37	+5.0%	38,040	+11.6%
はなさく生命	194	+25.2%	31	+25.9%	12,021	+43.6%

団体保険・団体年金保険	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2022年 9月末	対22年 3月末	2022年 9月末	対22年 3月末
国内計	1,094,567	▲0.3%	184,165	▲0.4%
日本生命	983,581	+0.1%	140,622	+1.2%
大樹生命	110,985	▲4.2%	7,281	▲6.8%

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットの投資顧問残高（29,116億円）、確定拠出年金の投資信託（日本生命販社分7,134億円）を含む

【参考】新型コロナウイルス感染症によるお支払いについて

■ 保険金のお支払い

		2022年 4-9月
死亡保険金		約1,330件 約112.1億円
	災害保険金	約210件 約14.6億円

■ 給付金のお支払い

		2022年 4-9月
入院給付金		約613,210件 約845.8億円
	みなし入院	約589,030件 約804.6億円

【参考】2021年度の新型コロナウイルス感染症による保険金・給付金について

■ 保険金のお支払い

		2021年度	
			4-9月
死亡保険金		約1,930件 約163.9億円	約1,110件 約95.6億円
	災害保険金	約300件 約17.9億円	約170件 約11.2億円

■ 給付金のお支払い

		2021年度	
			4-9月
入院給付金		約151,610件 約226.8億円	約38,440件 約58.0億円
	みなし入院	約133,500件 約198.8億円	約29,160件 約43.4億円

① 業績見通し

- 2022年度は日本生命グループ計で、前年度から増収・減益を見込む。
- 保険料等収入は、外貨建商品の販売増を主因に増収を見込む。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払増による危険差益の減少やヘッジコストの増加等による利差益の減少を主因に、減益を見込む。

(単位：億円、百万豪ドル)

	保険料等収入		基礎利益	
	2021年度	2022年度 見通し	2021年度	2022年度 見通し
グループ計	53,860	増加	8,515	減少
日本生命	43,079	増加	7,752	減少
大樹生命	4,986	増加	396	減少
ニッセイ・ウェルス生命	3,501	増加	339	減少
はなさく生命	137	増加	▲189	減少
MLC	1,787	増加	28	減少

- ※ 保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）
- ※ 基礎利益のグループ計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出
- ※ MLCの保険料等収入は収入保険料。基礎利益は税引前利益に持分比率、金利変動要因等の除外を行い算出（現地通貨ベース）

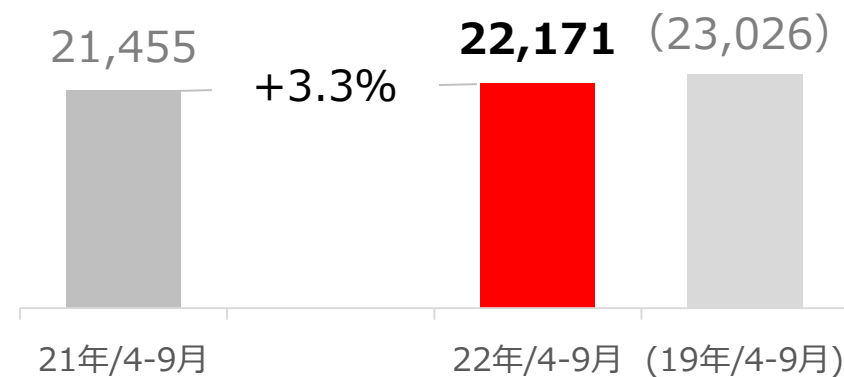
**【参考】
グループ各社の概況**

【参考】日本生命（単体）：収支

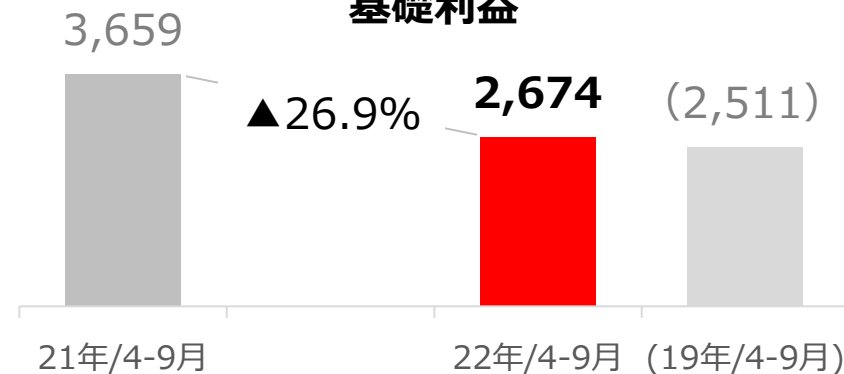
- 対21年4-9月で増収・減益。
- 保険料等収入は、海外金利の上昇に伴う外貨建商品の販売増を主因に、増収。
- 基礎利益は、円安の影響、投信分配金の増加等により利差益が増加した一方、新型コロナウイルス感染症関連の支払増による危険差益の大幅減少を主因に、減益。

保険料等収入

（単位：億円）



基礎利益



	2022年 4-9月	対21年 4-9月	対19年 4-9月
基礎利益	2,674	▲26.9%	+6.5%
利差益	1,802	+18.7%	+351.5%
費差益	256	+69.1%	+47.6%
危険差益	616	▲69.0%	▲68.2%

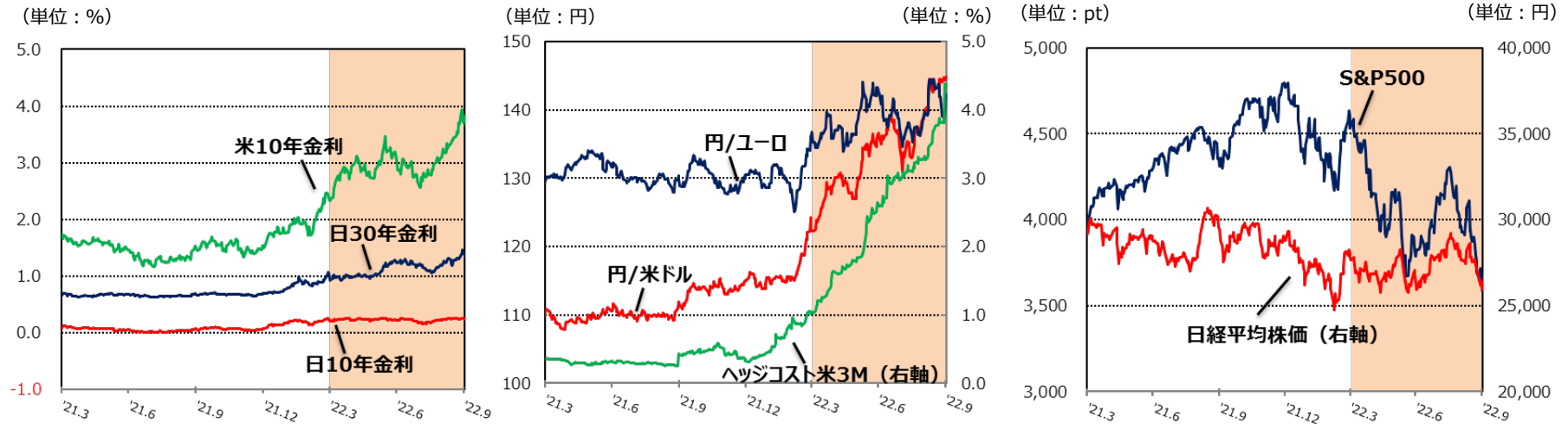
【参考】日本生命（単体）：資産運用

- 資産運用収支は、対21年4-9月で減少。
- 資産運用収益は、利息及び配当金収入や、為替差益の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、有価証券売却損の増加により増加。

資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

	2022年 4-9月	対21年 4-9月
資産運用収益	13,613	+2,035
うち利息及び配当金等収入	9,206	+1,648
うち有価証券売却益	3,550	▲421
うち為替差益	719	+719
資産運用費用	5,015	+4,128
うち有価証券売却損	4,232	+4,044
うち有価証券評価損	49	+31
うち金融派生商品費用	83	+70
資産運用収支	8,597	▲2,093

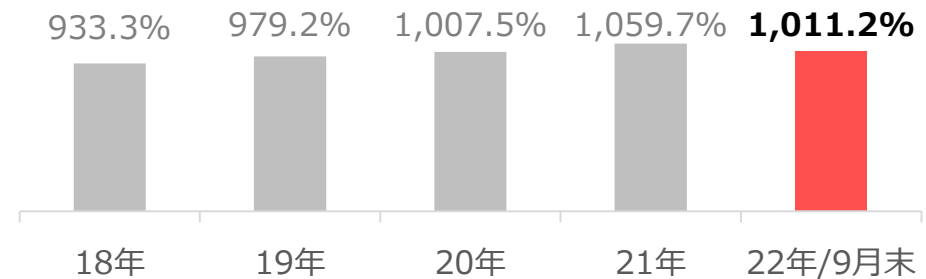
マーケット状況



【参考】日本生命（単体）：健全性

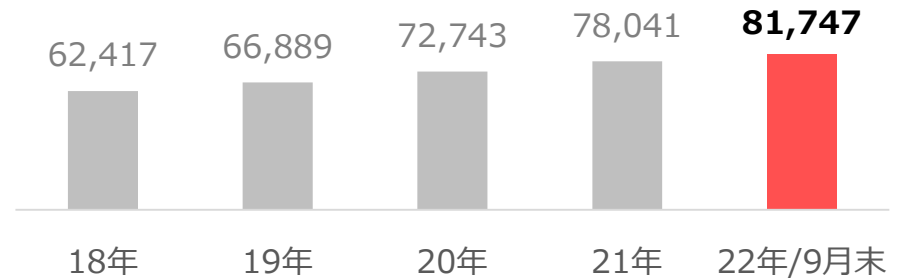
- ソルベンシー・マージン比率は、
 その他有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で低下。
- 有価証券の含み益は、内外金利上昇や
 株価下落により、対21年度末で減少。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

(単位：億円)

	2022年 9月末	対22年 3月末
有価証券	73,962	▲ 32,827
公社債	5,974	▲ 15,376
国内株式	50,168	▲ 6,081
外国証券	18,391	▲ 9,731
その他	▲ 572	▲ 1,636

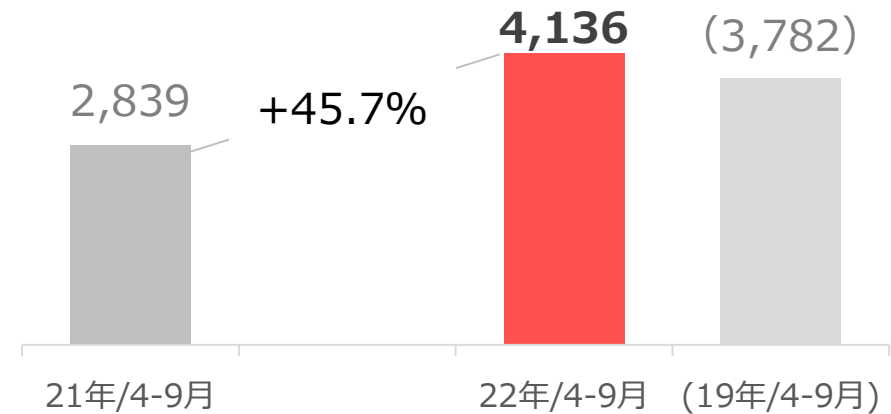
※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

【参考】大樹生命

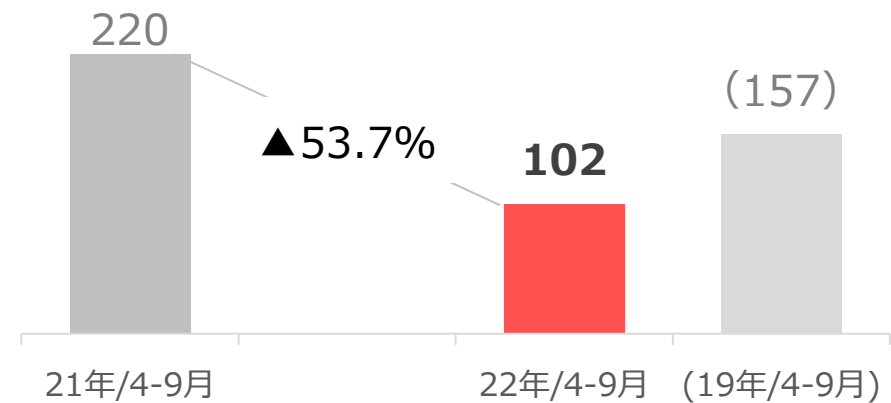
- 対21年4-9月で増収・減益。
- 保険料等収入は、一時払外貨建養老保険の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症関連の支払増による危険差益の減少により減益。

(単位：億円)

保険料等収入



基礎利益



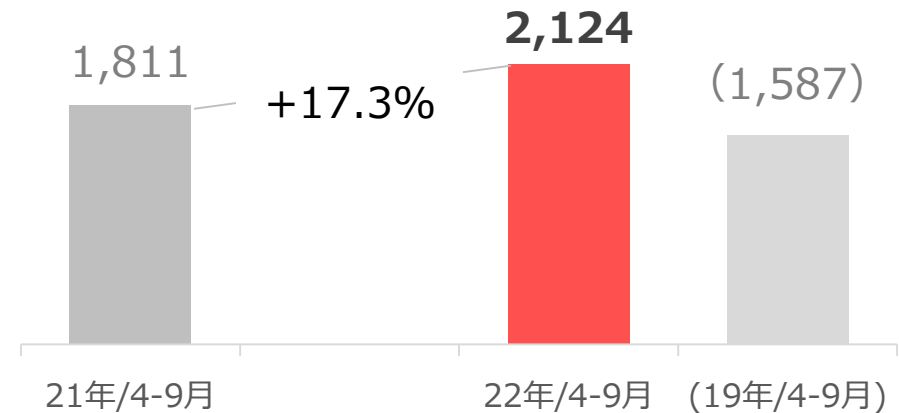
※ 単体の数値を記載

【参考】ニッセイ・ウェルス生命

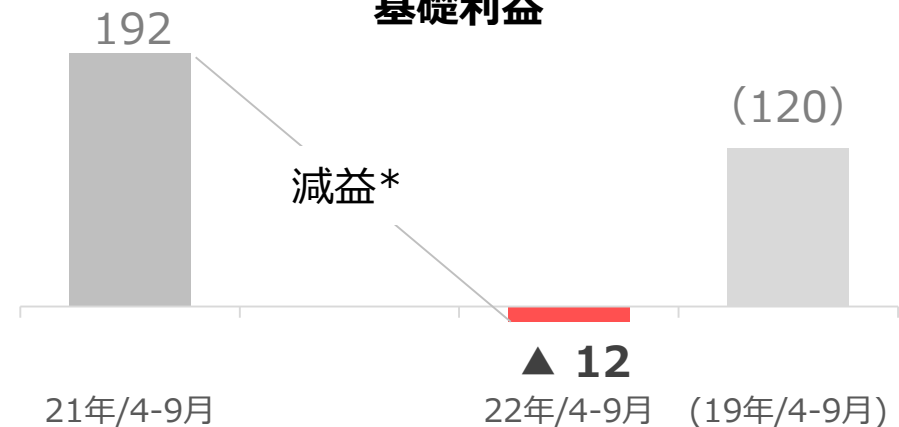
(単位：億円)

- 対21年4-9月で増収・減益。
- 保険料等収入は、一時払外貨建終身保険等の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、標準責任準備金の繰入増による危険差益の減少により減益。

保険料等収入



基礎利益



※ 単体の数値を記載

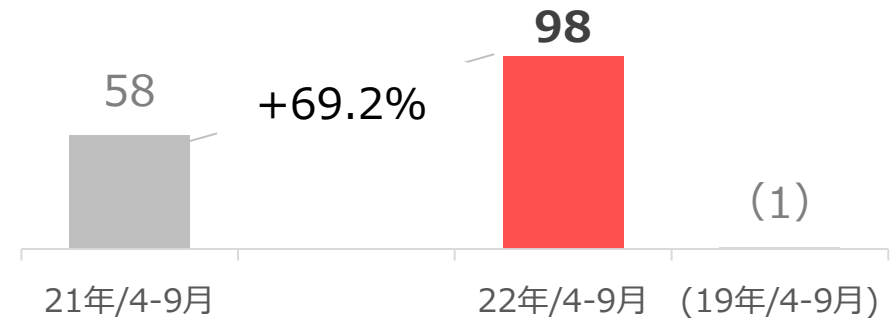
* 前年度数値がプラス、当年度数値がマイナスにより、減少率算出不可

【参考】 はなさく生命

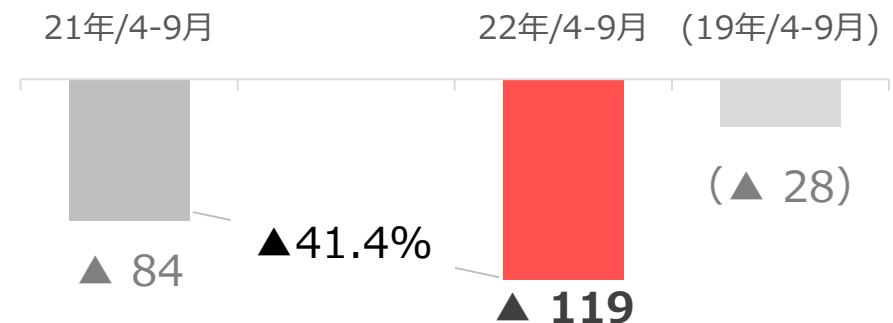
(単位：億円)

- 対21年4-9月で増収・減益。
- 保険料等収入は、医療保険等の販売増を主因に増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増を主因に減益。

保険料等収入



基礎利益



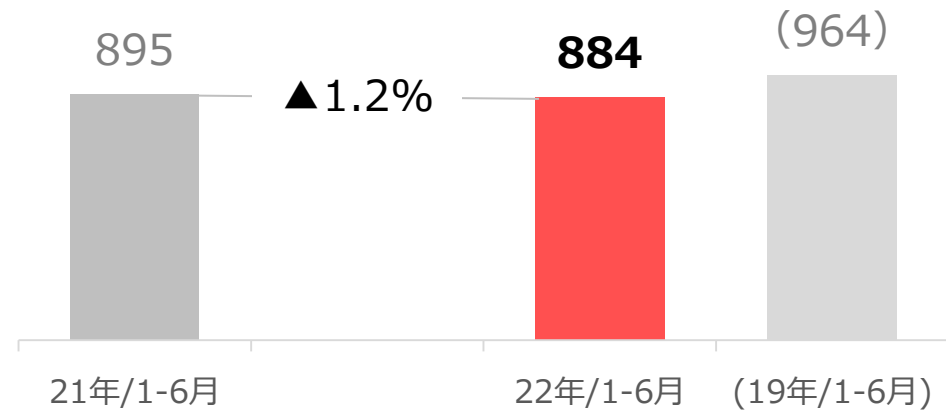
※ 単体の数値を記載

【参考】 MLC

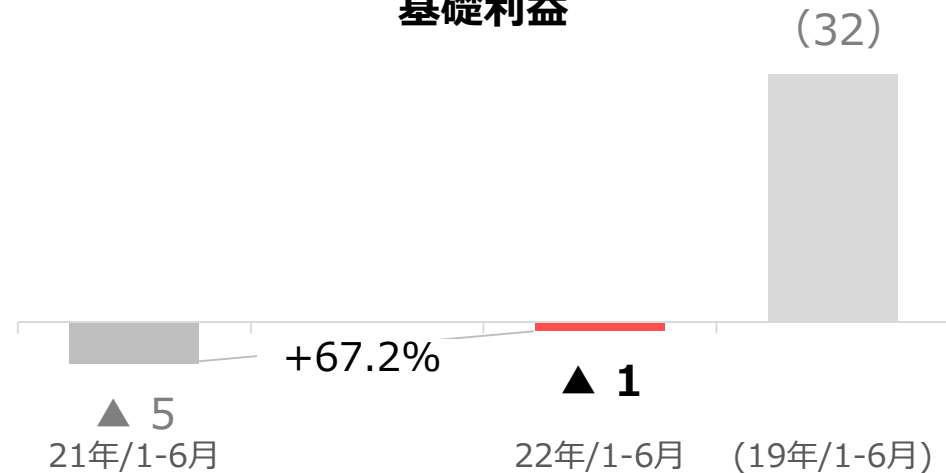
- 対21年1-6月で減収、基礎利益は改善。
- 収入保険料は、銀行窓販領域等の減少により減収。
- 基礎利益は、団体保険の支払減を主因に改善。

(単位：百万豪ドル)

収入保険料



基礎利益



※ 単体の数値を記載

※ 上半期決算では1-6月期を連結反映